

町内保育園と幼稚園で防火指導



丹羽消防署と大口町予防啓発団が、町内の幼稚園(2園)と保育園(4園)で防火指導をおこないました。

火事の怖さや正しい火の取り扱いについて学んでもらおうと、アニメ上映や消防士の寸劇「火火兄弟」、けが人をみんなで運び出す訓練を体験し、園児は楽しい催しをとおして、火の用心を学びました。

訓練後は、大きな声で「火遊びは絶対にしません」と、火の用心を誓いました。

チャリティーグラウンドゴルフ大会



雲一つない晴天の中、大口町老人クラブ連合会主催のチャリティーグラウンドゴルフ大会が開催され、184名が参加しました。

参加者の皆さんは日ごろの練習の成果を十分に発揮され、楽しそうに笑顔でプレーしていました。

- ▽団体優勝(知事賞) 余野千歳会
- 準優勝(連合会長賞) 竹田ちとせ会
- 三位(シオン賞) 河北和みの会
- ▽個人優勝 水谷 勇さん(秋田)
- 準優勝 市川祥子さん(秋田)
- 三位 近藤時子さん(竹田)

11/12
火

令和元年度 大口町消防観閲式



雲一つない秋空のもと、総合運動場で大口町消防観閲式がおこなわれました。

この日、大口町消防団は、集団行動における団結力や規律、士気、協同動作の向上を目的とする部隊訓練や河北分団による小型ポンプ操法訓練など、日頃の成果を披露しました。また、大口幼稚園の幼年消防クラブの園児たちによる元気いっぱい鼓笛演奏など、参加者の皆さんから大きな拍手が送られました。

11/10
日

おおぐち観鋭桜植樹



多世代が集う憩い広場に、大口町の古来種桜である「おおぐち観鋭桜」の苗木を植樹しました。

初代町長が植樹をおこなったソメイヨシノが寿命とされる時期を迎えるいま、次世代へ桜並木を受け継ぐため、後継の桜として「おおぐち観鋭桜」を育成してきました。組織培養から始まった桜が約1mに成長し、今回初めて植樹がおこなわれました。小さな苗木が大きく成長し、花を咲かせる日が楽しみです。

11/11
月



もし認知症の人に出会ったら…



舞台華やか芸能発表会

町民会館で、大口町文化協会主催の芸能発表会が催され、大正琴、合奏、ダンス、歌謡、詩吟、太鼓、民謡などの団体が一同に集い、日頃の練習の成果を披露しました。
 華やかな衣装に身を包んだ出演者のステージに、満席の会場から大きな拍手が送られました。

11/10
日

南（11月26日火）・中地域自治組織が、認知症について知識と理解を深め、地域で見守り支え合おうと認知症勉強会と、認知症徘徊高齢者捜索模擬訓練をおこないました。
 「驚かせないよう前から声をかける」「きつい言葉で自尊心を傷つけない」などを意識して迷い人に声掛け訓練をする現場を見て「迷い人役と声掛け役がとても上手で、声掛けのタイミングが分かった」と参加者。中地域は、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを目指しています。

11/28
木



VR（バーチャルリアリティ）映像で不審者対応訓練



大屋敷地区で防災を考える講話

大屋敷学共で、「大口町の防災対策 ～いつ来るかわからない災害に備えよう～」(町民安全課)、「台風19号被害地域(長野県千曲川流域)のボランティア活動報告」(社会福祉協議会)と題した防災の講話があり、参加者は防災意識の大切さを再認識しました。
 また、屋外では「炊き出し訓練」がおこなわれ、豚汁が振る舞われしました。子どもからお年寄りまで多くの方が参加され、防災に対する関心が深まった行事となりました。

11/24
日

不審者と遭遇した際の対応を体験できるVRを江南警察と愛知工業大学名電高等学校 情報デザイン部の部員が開発し、完成発表会が北小学校でおこなわれました。
 実際に起こった事件を参考に作られたVRを、北小学校の防犯少年団が体験。防犯教室では北地域自治組織の皆さんに協力してもらい、不審者から危険を回避する方法を身につけました。

11/9
土